

③教育活動プログラム —中国人民大学との共同設置科目—

21COE-GLOPE では、当初より海外教育機関との学術ネットワーク構築に向けて積極的な活動を行ってきました。

2004 年 3 月に石井を団長として中国の北京大学、人民大学、復旦大学を訪問し、21COE-GLOPE が目指す大学院における若手研究者育成と比較政治経済制度研究についての国際共同研究教育事業を共同で推進するための協力を求めました。

翌 2005 年 2 月には代表者の戴下をはじめとする各研究班の班長が、前回の訪問時に相互協力推進を約束した人民大学・経済学院を再訪問し、2005 年末に中国における国際コンファレンスの共同開催と早稲田大学経済学研究科との単位互換制度の構築に向けて計画を具体化することについて合意を果たしました。

その後、4 月に人民大学経済学院院长・楊教授等が早稲田、9 月に早稲田側が中国人民大学を訪問することを通じて、両研究科の提携関係樹立に向けた協議を重ね、10 月に森・研究科長と楊・学術院長の間で正式な箇所間協定が結ばれることになり、2006 年度より両研究科の間で教員の相互派遣と「現代日本経済論」と「現代中国経済論」という 2 科目が共同設置科目として運用されることになりました。同時に 2005 年末には中国人民大学との共催により北京にて国際コンファレンスを開催しました。

現在は、単なる共同設置科目の運用、コンファレンスの共同開催だけでなく、教員・院生間の共同研究の推進、国際合同教育事業の推進のためにいっそうの協議が進められています。

なお早稲田 21COE-GLOPE の国際若手研究員の受入れ等を通じた国際交流を戦略的に活用することによって、このような海外機関との研究教育協力事業は人民大学に限らず、他の多くの大学にも急速に拡大されつつあります。

開催記録

日付	講演者・講義内容
2005 年 9 月 9 日	清野一治(早稲田大学教授)「第 1 回セミナー」(於 中国人民大学)
2006 年 7 月 10 日 -21 日	于 同申(中国人民大学经济学院教授)「現代中国経済論 A」(於 早稲田大学)
2006 年 9 月 7・8・11・12・13・14 日	戴下史郎(早稲田大学教授): Japanese Economy, Information and Markets, Finance and Information (於 中国人民大学)
2006 年 9 月 11・13 日	船木由喜彦(早稲田大学教授)「ゲーム理論と経済学実験」(於 中国人民大学)
2007 年 3 月 5 日	永田 良(早稲田大学教授): Use of Mathematics in Economic Theory (於 中国人民大学)
2007 年 7 月 23 日 -27 日、30 日	Dic Lo (中国人民大学经济学院客員教授)「現代中国経済論 A」(於 早稲田大学)
2007 年 9 月 14 日 -16 日	上田貴子(早稲田大学教授)「政治経済方法論 C」(於 中国人民大学)
2007 年 9 月 24・25・27 日	船木由喜彦(早稲田大学教授)「政治経済方法論 C」(於 中国人民大学)

